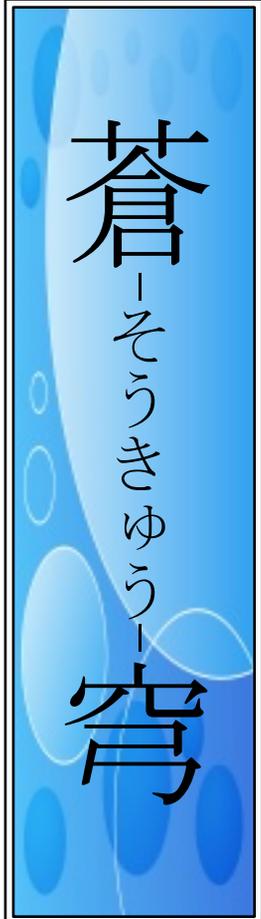


「自己肯定感を高めよう」

「ホームレス」環境活動家 谷口たかひささん来校



蒼穹

7月21日(木)の5・6時間目に体育館で「ホームレス」環境活動家の谷口貴久(たかひさ)さんを講師に招き、気候変動により引き起こされる環境問題と自己肯定感について講話が行われた。

谷口さんはイギリスの大学に進学するため、高校卒業後に起業して資金を貯めた。

「世界的にプラスチックゴミが問題になっていて3個捨てたら1個は自然に流れ出ている状態」

「地球温暖化の影響で台風・豪雨・洪水が大規模化していて島国で台風に弱い日本は世界で4番目に危ない国」「世界一寒い南極でも気温が20度を越えるようになり、9日間で25%以上の氷が融解

して海水面が上昇した」「今の社会問題で一番深刻なのは、無関心だと思ふ」など、今世界で起こっている現状を動画も交えて警鐘を鳴らした。

ユニークな話に惹かれたのか、質疑応答で質問が沢山出た。「彼女はいますか」という問いには「いないよ。でも恋愛は沢山していい方がいい。オレは若いころにバンバン恋愛するうち自己肯定感が爆発して自分が大好きだから続かない」と教えてくれた。

(渡邊 このみ)



大阪出身の谷口さんは柔らかい関西弁を使って飽きさせなかった

発行者
上士幌高等学校
新聞局
編集長
渡邊このみ
第277号
令和4年7月25日

デートDVは「虐待」

講話2日目は「生と性の講話」



長縄さんはよく通る声で話してくれ、高校生が作った動画も見せてくれた

22日(金)の午後、体育館で「感情コンサルタント」の長縄史子(ながなわ ふみこ)さんを講師に招き「生と性の講話」が行われた。今回の講話ではデートDVとアンガーマネジメントがメインに進められた。

長縄さんがこの活動を始めたのは1人の女子生徒から性暴力にあったという相談を受けたのがきっかけだった。当時は女性専用のカウンセリングがなく色々な人を巻き込みながら活動を始め、10年かけて今のc.o.c.o.k a1aを設立した。

昔は実情も知られておらずテレビで話をする仕



自分の言葉で謝礼を述べる山口さん

事をした際に「デートという言葉がついていていかかわしい」と市長からクレームが入ったこともあった。

「私はフェミニストではないが『結婚して幸せだったと感じたことがない』という女性の話をすると自分もだと答える女性が多くて驚いた」「結婚して子供を持つのが女

性の幸せだった頃なら気にならないが、時代とともに情報をアップデートしていかないといけない」など、私たちにもわかりやすい事例を紹介しながら話してくれた。

さらに「思い通りにならないからイライラして暴力などデートDVに繋がる。暴力というほどではないという人もいるが、嫌と言えない関係は対等ではなく、相手が自分で自分のことを決められなくなってしまうのは暴力といえる」「私は暴力ではなくあえて『虐待』という言葉に置き換える。そうすることでダメなことが伝わる」といった内容が印象に残ったのか、最後に生徒を代表してお礼の言葉を述べた山口華穂さん(2A)も「言葉や行動の制約なども暴力なんだということがよく分かりました」と結んでみた。 (渡邊 このみ)

自分は様々な生き物を飼っているのだが、そのなかでも一番愛嬌があるのがミドリフグという熱帯魚である▼この子はとても懐きやすく人間らしさがあるのでとてもかわいいで溺愛している▼ミドリフグは目が良く、遠くからでも飼い主の自分を認識して餌をねだってきてまるで犬のようである▼さらに機嫌も分かりやすく、寝起きや不機嫌な時は体色が黒っぽくなり、逆に上機嫌や水槽の水換えをした時は明るく綺麗な緑色になる▼おまけに非常に食いしん坊で、沢山食べた後にはわかりやすくお腹が膨れる。しかしそれが仇となって基本自分が水槽に入れたものはとりあえず齧ってみたりするので困る。本当はもっと自分の飼っている熱帯魚を紹介したい所だが、それはまた担当が回ってからのしよう▼生き物は飼われることに慣れてくると餌を求めてくるようになり愛嬌が生まれる。皆その可愛さ、良さを知ってほしい▼皆も生き物を飼育するときは飼いきれなくなっても責任を持ち最後まで飼いきらう。(後藤 翔稀)

箸休め

3年生は最後に何を語るか

高体連集約大会を終えて～ハンド部は2年主将で初陣

5月下旬に開催された高体連集約大会が終わり、ほとんどの運動系部活動で3年生が引退した。また新しく活動を始めたハンドボール部は同好会から昇格して初の高体連に臨んだ。各部署で3年生の元主将、2年生の現主将らに話を聞いた。(高体連取材班)

サッカー部

元主将 夏田 凱伊さん (3B)



連合チームの主将として出場したが、自分より上手い3年生もたくさんいる中で主将を務めるのは精神的にきつかった。

また実際にその場に行くプレッシャーがあいまって、本来の実力を発揮することはできなかった。後輩には、タフなトレーニングをして今以上に強いチームになってほしい。最後に、2年生でキャプテンになってほしい。最後に、2年生でキャプテンになってほしい。最後に、2年生でキャプテンになってほしい。

最後の大会だったけど初戦敗退と言う結果に終わってしまった。引退することになってしまったが、もう少し皆と部活

テニス部(硬式)

元主将 太田 凜さん (3B)

最後の大会だったけど初戦敗退と言う結果に終わってしまった。引退することになってしまったが、もう少し皆と部活



戦敗退という結果で終わったが、3年間楽しむことができたからよかった。でも引退まで早くてびっくり。

後輩が1人だけになってしまふのが気になってるところだけ「頑張つて」としか言えないのが心苦しい。どの部活動でも引退まではあつという間だから、全力で楽しんで欲しい。

バドミントン同好会

元主将 西丸 知那さん (3B)



最後の大会だったけど初戦敗退と言う結果に終わってしまった。引退することになってしまったが、もう少し皆と部活

をしたかった。後輩たちは仲がいいし、今は男女比も丁度いいから、大会でも活躍してくれると思う。これからは頑張つて欲しい。

バスケットボール同好会

元主将 川内 優翔さん (3A)



引退までがあつという間と感じた。自分たちは大会に出るといことは

しなかったけれど「楽しかった」っていうのが一番強い。2年生が一人になるのが心配だけど、心も体も強くなつてほしい。1年生には先輩の指示に従いつつも自分で考えて行動できるようになつてほしい。

卓球部

唯一の3年生部員だった清水 一真さん (3B)



初戦で緊張してしまい苦戦した。それでも「練習でできないことは本番でもできないから」と真剣に練習に取り組んできたおかげで何とか全道大会まで戦うことができた。中学の時ペットボトルをスマッシュで倒す技を見てかっこいいと思いついて以来6年間続けてきた卓球のおかげで自分に自信がついた。今思えば卓球の魅力はラリーが続いた時の楽しさだった。自分の代では団体戦で全道に行くことはできなかったけど、来年は煌太を中心に練習して団体戦で全道に行けるように頑張つて下さい。応援しています。

ハンドボール

主将 森田 康介さん (2A)



初めての高体連は5月29日(日)に音更町体育館サンドームでやった。自分たちは初心者ばかりなので、とにかく全力で頑張るとい目標を持ち試合に臨んだ。

大会前の練習では、シュートやディフェンスの動きを意識した。対戦したのは二校で柏葉高はディフェンスが上手かったという印象。「強かった」と感じたのは三条高校だった。自分は今センターで、校長先生も時々練習に部活に参加してくれる。ハンドボールはバレーボールよりも体力を使う競技なので、今キーパーを含めて7人いる部員を増やして14人くらいのチームにしたい。

先生の休日⑭



今回は2B担任の上神田 子どもと一緒に公園でバドミントンやバレーなどをやる。「勝ち負けより楽しむを家族と過ごす日と決めてだ。午後には子どものお昼の朝は3人の子も達寝に付き合つて自分も寝るのたために朝食を作り、家中しまふこともあるらしい。図鑑が好きになった長女



そのほかには自宅の庭にヒマワリやコスモスを植えたりして、休日にはその世話をしているが、家庭菜園でトマトが取れることに7歳の長女が興味を持ち始めたので図鑑を買ってあげたらそれが気に入って植物図鑑を調べて動物図鑑も森の中を滑るスキーのこと

(加納 夢萌)